

■ □ ■ 監理団体への実地検査①⑥ ■ □ ■

■ 機構 名古屋事務所による

■ 2022年6月下旬 受検

■ 所要時間は1時間30分

★取 扱 に 注 意★

- ・ コピーは内部使用に限定願います
- ・ 外部持出は厳禁とします
- ・ 実地検査の際には仕舞っておいて下さい
- ・ 当資料の内容は保証致しかねます
ご参考/最終確認用としてご利用下さい

□実地検査計画

- 検査1か月前に機構（名古屋事務所）からFAX連絡有
（「備え付けておかなければならない書類」も併せてFAX）
- 検査体制：女性1名（サブの帯同なし）
- 検査担当者：和やかな空気感。優しく真摯に向き合う印象
- 「実地検査報告票 A4」「監査調査票」「帳簿リスト」持参
- 行政書士[外部監査人]の立会OK（検査担当者とは既知）

□質問/確認

- 事務所サイトの妥当性（口頭確認）
 - 当該実地検査サイトが事務所であること
 - 監理団体許可証・同業務運営に関する規程の掲示状況
 - 書庫は鍵付であること
 - 役員/職員の人数・常勤性、企業数

□事務所サイトの妥当性（口頭確認）[続き]

□監理責任者名、講習の直近受講日・受講地

□技能検定の説明、実習困難な実習生の転籍措置

□手数料・違約金、強制貯蓄、在留カードの保管、
実習生のプライベート時間の拘束

□実習生へのケア（口頭確認）

□相談対応状況（頻度、使用ツール、通訳の帯同）

□備え付ける全帳簿の妥当性

□FAX配付「備え付けておかなければならない書類」にて
帳簿を順次確認

□指示により以下提示

実習生の履歴書、雇用契約書・条件書、技能実習日誌、
入国後講習実施記録、訪問指導記録書、相談対応記録書、
雇用関係の成立のあっせんに係る管理簿、

□指示により以下提示[続き]

監査報告書、外部監査・同行監査報告書

□監理費管理簿は3か月分の確認

(利益が出るようであれば、監理費を下げる等の工夫要)

□1年保管の実施状況を口頭確認

□監査・外部監査の実施状況

□直近の監査対象企業・監査実施日・監査対応者・
監査報告書の提出日・提出者の確認

□監査報告書の一部未提出・提出遅延あり。チェックシート等の
活用により、再発防止を図ること【改善勧告】

□最遠隔の企業名・監査時の交通手段・宿泊要否を口頭
確認（併せて領収書の提示要請有）

□失踪等不測の事態が発生した際、臨時監査の実施状況を
口頭確認

□送出し機関との関係

□送出し管理費に係る支払時期・（経費を含む）支払内容・
企業への請求書について確認

□覚書の記載金額 ⇔ 送出し機関からの請求書金額
⇔ 監理団体から企業への請求書金額の三者間突合

□協定書の内容に関して以下改めること【改善指導】

□送出し管理費の支払時期・金額

（違法性はない印象だが、覚書と実運用の相違発生）

□前回検査時にも類似の指摘有

□その他の質問/確認

□困難時届出書の作成、事業報告書の提出日を口頭確認

□採用面接時の対応状況を口頭確認

□最近は渡航（帯同）せず、オンラインにて面接を実施

（渡航の場合、経費に係る領収書はすべて保管要）

□その他

□今年は赤字の監理団体が多い印象

□アポなしでの実地検査は、開始時期未定

□実習生の財産管理方法として『今年度から、スーツケースは原則認められなくなった』（実習生の所有物活用はNG）

□『企業の敷地内に監理団体を設けることは認められない』。
今後厳しく確認していく

□指摘2件は極めて基本的なものだが、コロナ禍でのオフサイトによる外部監査では不適合抽出に限界があると思料。クリティカルな監査証跡には期間内の全数確認が必要な旨、認識を改めた

□地方事務所は実地検査の最前線でありながら、本部からの一方的な指示に振り回されており、気の毒な印象を受けた